

名古屋北部民商ニュース

名古屋北部民主商工会
〒462-0035 北区大野町3-19
TEL (052)915-8111
FAX (052)915-8114
E-mail jimukyoku@hokubuminsho.st1.jp

学びつつ行動し、仲間を増やそう！

会員さんと顔を合わせることが大切 ～まちの変化も実感

9月22日(月)13時から、西支部の宮内支部長はじめ、安齋さん、岩田さん、事務局の4人で会員訪問を行いました。花屋の光本さんのところでは、民商のポスターを貼ってもらうことになりました。光本さんは、「花の値段がとてもし上がっていて、問屋さんもよくやってるなど心配している」「今は、仏花も柵も、そのままの状態でも中国から入ってきている。スーパーなどでは、それでいいかもしれないが、花屋の看板上げている以上は、いつまでもつか分からないようなものは売れない」「こどもが学校で、親が花屋をしていると言ったら、え～と驚かれた。親が商売をしているような家庭が無くなった」等、話してくれました。

地球堂(古物・骨董)さんでは、接客中でしたが、民商の紹介と署名のお願いをしてきました。安齋さんは、「やはり、時々会員訪問することが大切だね」「顔を合わせて話をする事でいろいろなことが分かるから」と元気いっぱい。岩田さんは「久しぶりに西区内をまわると、枇杷島も円頓寺も浄心も、あちこち景色が変わっている。新しい人口が増えているから、昔のようなやり方だけではいけないね、工夫しないと」と感想を語りました。



「インボイス廃止」「2割特例・8割控除継続」を求める意見書を名古屋市でも

9月22日(月)15時頃から、名古屋市の9月議会へ提出予定の「インボイス廃止と『2割特例』『8割控除継続』を求める意見書を国へ送付することを求める請願」の紹介議員の依頼に各会派の市議会控室を訪ねました。行動には、名古屋東部民商事務局長、名古屋北部民商事務局長、港民商事務局長、南民商事務局長の奥村さんの4人が参加。

民主党の赤松市議、公明党の長谷川市議、陽向の会の金城市議が、応接に招き入れて話を聞いてくれました。減税日本の市議は、入口で私たちの話に耳を傾け、検討します、との返事でした。民主党の赤松市議は、「立憲民主党として、インボイスには反対しているが、国政の話なので、難しい面がある」と話すと、民商側から「私たちの会員のなかでも、地元で長く頑張ってきた飲食店などが続々と廃業している。特例措置がなくなり、これ以上の負担になれば、さらに廃業が進んでしまう。紹介議員が難しくても、市議会で議論してほしい」と要請。金城市議は、「自分も会社をしているから、インボイス登録してくれと手紙がきたよ、面倒くさいよねー。みんな文句言ってるし、やめてほしいと思ってる。でも名古屋市は結局自民、公明、民主だから」「できるだけ力にはなりたくと思います」とぎっくばらんに話してもらいました。名古屋市に所在地がある、同業組合などへ43通、協力の文書を送ったところ、「愛知県靴下工業組合」からは、一昨年解散しましたと返事がきました。また、「青色申告会連合会」からは「協力できません」とファックスで返事が。



引き続き、インボイス廃止へあきらめずに行動しましょう。

戦後80年特別企画 前進座名古屋特別公演 (チラシを御覧ください)

「笑いごとではありませぬ」の観劇のご案内

<日時> 10月13日(月・祝)14時開演
(民商にA席のチケットあります。7500円)

<場所> 日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール

*民商共済会加入の方は2500円補助します(詳細は、民商事務局までお問い合わせください)